

## ○参議院選挙の敗北

参議院選挙の結果は、民主党にとって大きな敗北でした。民主党に対する国民の信頼が取り戻せない中で、高橋さんをはじめ民主党候補は、相手候補と戦うのではなく、自民党、安倍総理との戦いの中で、敗北を喫しました。逆風の中で必死に応援いただいた皆さんには、本当に申し訳ありませんでした。

去年の衆院選での敗北を踏まえて総括をして、次の挑戦を目指したはずであったにもかかわらず、「民主党は変わった」「新しい民主党にかけてみよう」というところまで党内改革が進まず、信頼回復ができなかったこと。自民党のアベノミクスではなく、私たち民主党がはっきりとした争点を作って戦うことができなかったこと。維新やみんなの党など野党の分断を克服して、選挙協力の具体化までもっていく民主党の求心力が作れなかったことなど、多くの反省と解党的党内改革の必要性を痛切に感じています。細野幹事長が辞任をしましたが、私は、残って歯を食いしばり、とことん党改革に挑戦し続けます。8月いっぱい総括して、出直し体制を作ります。日本にとって、自民党にしっかり対峙して、もう一つの選択肢を国民に示すことのできる政治勢力があることが、日本が国家としてこの20年30年をダイナミックに生き抜くため、どうしても必要だと思っています。

## ○韓国セヌリ党(与党)総裁との懇談

古くからの友人で北朝鮮の人権問題などを一緒にやってきた黄祐呂議員が韓国の青少年団体の指導者たちとともに三重県にたちよりました。ぜひ会って、旧交を暖めると同時に、これからの日韓関係を前向きに進める方途を相談したいということで、滞在先の志摩のホテルを訪ねました。黄祐呂議員は、現在の韓国の政権与党の総裁、日韓議員連盟の会長でもあります。それだけに、安倍政権のもとで冷え切っている日韓情勢を何とかしたいという思いと、日韓が固く連携していくことがアジアの将来について何にもまして重要だという信念が彼の口から会うたびに出てきます。

8月1日からポーランドのワルシャワで、拉致問題を含む北朝鮮の人権問題の国際議員連盟の総会を開きます。この議員連盟は、10年以上前から黄祐呂議員

が中心になって、私も共同議長をして一緒に進めてきました。北朝鮮の金正恩一族による軍事独裁体制に対して、人々の人権を守るという観点から断固戦ってきました。おかげで、日本の拉致問題も日本だけの問題でなく、韓国と連携ができ、アメリカも北朝鮮の人権侵害の最たる問題だと人権法という法律を作るところまで行きました。国連の人権委員会が、北朝鮮に調査団を派遣することも決議がされました。今年の総会には、ヨーロッパの国々から多くの議員が参加をします。ポーランドのアウシュビッツが彼らの人権擁護の原点。私もしっかりとした議論をして、国連を初めとする国際世論で北朝鮮に対峙しようと思っています。

## ○臨時国会の準備すすむ

臨時国会は、10月には開かれる予定です。私が直接関与して、法案化が実現しそうなテーマが二つあり、提出の準備を急いでいます。一つは、現在は紙の本だけに限られている著作権を電子書籍にも対応できるようにするための法案。海外から進出してくるアマゾンやグーグルに国内の出版社が対等に競争できる基盤を作ります。もう一つは、アルコール健康障害対策法案。自殺や躁鬱、家庭内暴力など社会問題の底流に潜むアルコール依存症の問題を、法務、警察、厚労省や文科省など様々な省庁を動員して解決するための基本法です。

これからも具体的なテーマをもって、立法活動や予算付けにどんどん頑張っていきます。

## ○高橋千秋さん、頑張れ

高橋千秋さんは、本当につらいことをしました。皆さんに、あれだけ応援をいただいて、当選できなかったこと、申し訳なく思います。

今回の敗北を糧に、歯を食いしばって、再生に向かっていきたいと思っています。高橋さんも引き続き頑張るとしています。

真夏の選挙はなかなか大変です。街頭演説では、暑さで頭が真っ白。どこまで何を語ったか分からなくなってしまったことがありました。我々の話を日中たたくんで聞いてくださった皆さんにとっては、もっと大変なことだったのかと恐縮しています。納得していただける政治を今度こそ。全力をつくします。

中川 正春